

2022年全国共済カップ神奈川県小学生柔道大会

要項

- 1 目的 わが国の将来を担う小学生の心身ともに健全な育成を目指し、児童相互の交流・親睦及び正しい柔道の普及・発展を期する。また、将来の日本柔道を背負う、ジュニア選手育成を目的とする。
- 2 主催 神奈川県柔道連盟・神奈川新聞社
- 3 後援 神奈川県・神奈川県スポーツ協会・神奈川県柔道整復師会
- 4 特別協力 全国共済
- 5 日時 令和4年6月12日(日) 午前9時00分開館予定
- 6 会場 横浜武道館 (関内駅 下車3分) ※例年と会場が変わっています。
- 7 実施種別
- ・トーナメント試合
 - ・小学5年生(男・女) 小学6年生(男・女)
- 階級については、申し込みの身長、体重を考慮し主催者で決定します。組み合わせ後にホームページにて公開します。
- ※当日の体重で±2キログラムの増減がある場合、身長が明らかに違う場合は、当日階級変更となります。
- ・勝ち抜き試合
 - ・小学4年生(男・女)・小学3年生(男女混合)
- ※試合順は申し込みの身長体重を考慮します。当日、申し込み時の身長、体重と違いがあると認められた場合は、測定の上試合順序を変更していただく場合があります。
- 8 参加資格
- (1)令和4年度全日本柔道連盟競技者登録者及び登録申請中の者
 - (2)登録所属以外での出場は認めない。(発覚した場合には、選手の貸し借りをを行った両所属からの当連盟主催大会への出場を1年間停止とする)
 - (3)選手の年齢区分は次の通りとする。(各種目の出場人数の制限はありません。)
- 小学3年生の部 平成25年4月2日以降に生まれた者
小学4年生の部 平成24年4月2日以降に生まれた者
小学5年生の部 平成23年4月2日以降に生まれた者
小学6年生の部 平成22年4月2日以降に生まれた者
- ※ 但し、帰国子女等についてはこの年齢制限を適用せず、学年齢による種別に出場できる。
- 9 試合方法
- (1)国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会特別規定」で行い、本大会申し合わせ事項を適用する。
 - (2)試合時間：トーナメント試合3分間 勝ち抜き試合2分間
 - (3)勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「僅差」「判定」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(技あり)がない、又は同等の場合、「指導」が2ある場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。
ただし、勝ち抜き試合においてはどちらかが指導1の場合は引き分けとする。
指導1であれば旗判定で勝敗を決定する。(GSは行わない) ※勝ち抜き戦は引き分け
(「指導」数によって勝敗が決する例=0対2、1対2)
(「指導」数に差が出て判定になる例=0対1)
 - (4)本大会申し合わせ事項として、寝技の攻撃・防御において抑え込もうと相手の腋を掬い返そうとする状態の時に相手の肩関節が極まる、あるいは肩関節に損傷を及ぼす判断をした場合は、受傷を防ぐために早めの「待て」とする。
また、立ち技、寝技を問わず、審判員が危険と判断した場合は「待て」とする。
- 10 計量 (1)小学5年生、6年生のみ午前10時30分から午前11時15分までの間に行う。2回までの計量を認める。

(2)場所等：男子 指定場所 下衣を着用。

女子 指定場所 規定のTシャツ(製造元のワンポイントを認める)・下衣を着用。

1 1 申込方法

(1)「大会申込書」及び「短冊」に必要事項(学年・体重・種目・性別等)を記入し、**短冊は切り離して**参加費と共に現金書留にて申込むこと。

※「大会申込書」及び「短冊」は**男子(黒色) 女子(赤色)**で記載すること。

(2)申込締切 令和4年5月17(火)とします。(期日厳守)

(3)申込先 〒221-0014 横浜市神奈川区入江1-2 2-8

横浜入江郵便局留 神奈川県柔道連盟 大友 隆雄 宛

(4)参加費 **全種目** 1,000円 (保険料等を含む)

1 2 表彰 トーナメント試合：優勝・準優勝・3位(2名)、**5位(4名)** 勝ち抜き試合：敢闘賞(3人抜き)を表彰する。

※トーナメント試合において参加者が7名以下の場合は優勝、準優勝のみ表彰、15名以下の場合ベスト4以上を表彰する。

1 3 選考方法

試合結果、練習内容を参考にして、本年度強化選手をジュニア強化委員会で選出決定する。選出人数は未定です。

※現在、正しい柔道・しっかり組んで一本を取る柔道が重要視されています。

ジュニア強化委員会もこの観点から選出を行います。

1 4 ゼッケン

ゼッケンは、各自で下記要領にて必ず縫い付けること。(無ければ失格とする)

① ゼッケンのサイズは、概ね横30cm~35cm、縦25cm~30cmとする。

② 縫い付け位置は後襟から約5cm~10cm下部とし、対角線にも縫い付けること。

③ ゼッケンの表記は上部2/3に苗字、下部1/3に所属名を記載すること。

1 5 その他

(1)参加者全員傷害保険に加入し、試合中の不慮の負傷・疾病については応急処置を致しますがそれ以上の責任は負わない。

(2)大切な成長過程にあることを重視し、減量は行ってはならない。

※指導者は正しい身長、体重で申し込む様に、ご指導ください。

(3)皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

(4)ゴミは各自・各所属でまとめて持帰ること。

(5)健康記録表の提出を出場の条件とします。また健康観察期間及び大会当日に37.0度以上の発熱が確認された場合は大会の出場が出来ません。

(6)神奈川県柔道連盟の許可を受けた企業・団体等による大会中の撮影写真・映像がホームページ・メディア等で公開される場合があります。

(7)大会に関する問い合わせは下記までお願いします。

神奈川県柔道連盟 ジュニア強化委員会

大友 隆雄 TEL 090-4203-4795

柴崎 文伸 TEL 090-9950-3400

※現在も新型コロナウイルスが非常に大きな社会問題となっております。場合によっては大会規模の縮小及び中止も考えられます。衛生対策と共に県柔連のホームページにて告知します。全員マスク着用及び健康記録表の提出等をしていただくこととなりますがご理解のほどよろしくお願いいたします。

※指導者の振る舞いの適正化、過度の応援禁止を徹底します。守って頂けない場合は、最悪途中にて大会を打ち切る場合もあります。神奈川県の各種大会が全国のモデルケースになる様にしていきたいと考えています。指導者、保護者の方のご協力をお願いいたします。(別途、資料を作成します)

※ 脳振盪対応について

選手および指導者は下記事項に遵守すること

1. 大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
2. 大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること)
3. 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
4. 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。